

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

障がい福祉課長 長岡 秀樹

電話番号

0852-22-6256

事務事業の名称	ひとにやさしいまちづくり推進事業	
目的	(1) 対象	高齢者、障がい者をはじめすべての人
	(2) 意図	公共的施設のバリアフリー化を進め、誰もが安心して社会参加できる。
事業概要	・ひとにやさしいまちづくり条例に基づき、当該条例に関する重要事項の調査審議を行う審議会を開催。また、整備基準に適合した施設を設置者等へ適合証を交付 ・公共施設やショッピングセンターなどに障がいのある方・高齢の方などで歩行困難な方や、妊産婦の方に、優先的に利用できる駐車区画（思いやり駐車場の）利用証を交付	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 適合証の交付件数	目標値		130.0	135.0	140.0	145.0	枚
		取組目標値						
	式・定義 交付累計	実績値	125.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名 思いやり駐車場利用証の交付数	目標値		6,500.0	7,250.0	8,000.0	8,750.0	枚
		取組目標値						
	式・定義 交付累計（返却分を控除後）	実績値	5,789.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,382	1,370
うち一般財源 (千円)	1,382	1,370

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・ひとにやさしいまちづくり条例に基づき、高齢者や障がい者が安全かつ円滑に利用できるものとするために必要な基準に適合することを証する証票（適合証）の交付件数累計 平成26年度：124枚、平成27年度：125枚（+1枚） ・思いやり駐車場利用証及び協定施設 利用証～平成26年度：4,935枚、平成27年度：5,789枚（+854枚） 協定施設～平成26年度：278施設、平成27年度：291施設（+13施設）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・思いやり駐車場の協定施設について、適合証交付企業等に協定施設になってもらうよう個別依頼したことなどにより、増加した。 ・思いやり駐車場利用証について、新聞広報や市町村担当課の制度周知協力等により、交付枚数が大幅に増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 思いやり駐車場について、歩行が困難な方などが駐車できないことがある（H26アンケート調査等より）。
②困っている状況が発生している「原因」 思いやり駐車場の駐車区画が少ないことや、歩行が困難でない者の利用など不適切な利用がある（H26アンケート調査より）。
③原因を解消するための「課題」 ・思いやり駐車場を設置してもらえる施設管理者の確保 ・思いやり駐車場利用証制度の理解促進

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・全県下で事業展開されている事業者などに対する、思いやり駐車場設置に向けた働きかけ ・思いやり駐車場の適正利用に関するさらなる周知活動の充実

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--